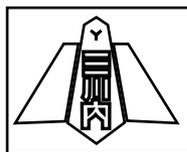


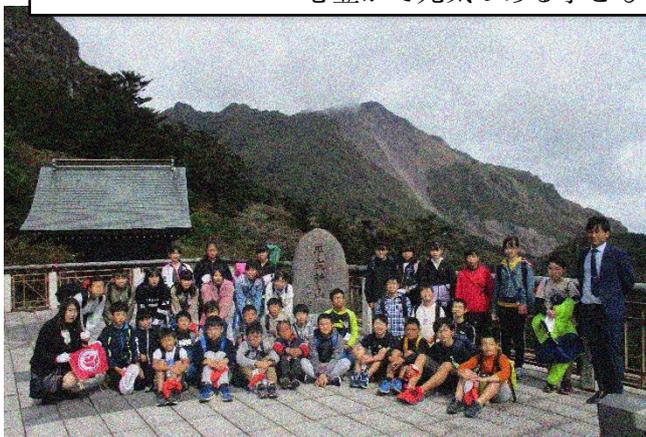
学校だより

あったか三川内



令和3年 10月25日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。



【修学旅行】

10月20日(水)・21日(木)と、島原・長崎方面へ修学旅行に行きました。1日目は、仁田峠・妙見岳→雲仙災害記念館→みずなし本陣→ホテル(シーサイド島原)。2日目は、長崎市科学館→軍艦島上陸クルーズ→学校。でした。1日目は天気に恵まれ、2日目は小雨が降る天候でしたが、見学には影響がなくて良かったです。子どもたちは、旅行に際して見学先の事前学習や学習・生活班の編制、旅行のしおり作成、クラスや自分の「めあて」決め、などに取り組み、旅行に臨みました。

(1日目) 仁田峠からロープウェイで妙見岳に登ると、眼下には、橘湾、有明海、遠くには八代海が広がり、対岸の天草地方や熊本本土まできれいに見渡せました。そして目の前には、雲仙普賢岳が堂々とそびえ立っていました。自然の雄大さに子どもたちはとても感動していました。雲仙災害記念館では、災害の状況を目の当たりにして自然の脅威とともに防災の大切さを学びました。近くのみずなし本陣では、買い物タイムで2000円のクーポン券とお小遣いを上手に合わせて、お土産をたくさん買いました。

(2日目) 長崎市科学館では、恐竜の化石や空気砲、光電池や人間の体の仕組み、重力など科学に関するブースがあり、体感を通して科学の不思議を学習しました。軍艦島上陸クルーズでは、船に揺られて40分程すると目の前に軍艦島が現れました。上陸してからは、ガイドさんの説明を聞きながら、日本で最初の鉄筋コンクリート建てアパートや炭鉱入口、学校校舎などを見学し、船での周遊では、隔離病棟や病院、当時の住民が暮らしていたアパート群などを見学しました。2日間の行程で、子どもたちは、バスの中やホテル、見学先での約束やきまりを守りながら、有意義な時間を過ごすことができました。大きな事故や病気もなく、全員無事故で帰校できたことが何よりも嬉しかったです。

